

【2級・解説】

リスニング

PARTE I (N1 – N4)

N1 b

【正答率】69.1%

F1: Guarda quella signora...

F2: Quale?

F1: Quella seduta là, su quella panchina, ...accanto al cestino dei rifiuti.

F2: Ah, ...sì.

F1: Lo vedi il cane ai suoi piedi? Guardalo bene. È identico a lei: ha il pelo dello stesso colore dei suoi capelli, è magrolino come lei... ed hanno anche la stessa espressione!

F2: (risata) Ma sai che hai ragione?!

F1: Non so se ci hai fatto caso, ma capita spesso che i cani assomiglino ai loro padroni.

【訳】(女1)あの女性を見て……。 (女2)どの? (女1)あそこに、あのベンチに座っている人よ……。くずかごの横の。 (女2)ああ……。ええ。 (女1)あの人の足元にいる犬が見える?よく見て。あの女性そっくり。毛の色は彼女の髪と同じ色だし、彼女みたいにやせているし……。それに同じ表情まで浮かべているわ! (女2) (笑)あなたの言う通りねえ?!(女1)あなたが気づいたことがあるかどうか知らないけど、犬が飼い主に似るのはよくあることなのよ。

N2 c

【正答率】48.6%

M1: Perché guardi me? Non è colpa mia se non parte!

M2: Ah no? Ieri, prima che la prendessi tu, funzionava perfettamente. E adesso non si accende, come mai? Sono venti minuti che provo a metterla in moto. Niente, non dà segni di vita.

Non è che hai lasciato le luci accese ieri sera, no?

M1: Ma no, figurati, me ne sarei accorto... Poi con questa sarebbe impossibile. Se resta qualcosa acceso, te lo segnala quando apri lo sportello, suona. Magari è colpa del freddo che ha fatto stanotte...

M2: Del freddo? E io ora come faccio? Avevo promesso a Lisa che la passavo a prendere!

【訳】(男1)なぜ僕のことを見るんだい？動かなくても僕のせいじゃないよ！(男2)へえ、違うのかい？昨日君がこれに乗る前は、完璧に動いていたんだ。なのに今はエンジンがかからない。どういうわけだい？エンジンをかけようとして20分になるんだよ。無反応だ。動く気配もない。昨晚ライトを点けっぱなしにしたんじゃないだろうね？(男1)まさか、とんでもない、それなら気づいただろう……それにこの車だと、そんなことありえないだろうよ。もし何かが点いたままだと、ドアを開けるときにそのことを信号で知らせてくれるんだ。音がするんだよ。ひよっとしたら昨夜は寒かったせいかも……(男2)寒さのせい？それで僕はこれからどうしたらいいんだ？リーザに、迎えに寄るって約束してたのに！

PARTE V (N17 – N22)

Primo ascolto (N17-N19)

F: Il dottor Bianchi era un italiano che non parlava il portoghese e che si esprimeva in un francese zoppicante. Aveva una ditta che comprava funghi porcini freschi e secchi e li importava in Italia, visto che i portoghesi prestavano così poca attenzione ai funghi. Disse sorridendo che il commercio era fiorente e che sperava che i portoghesi continuassero a prestare poca attenzione ai funghi porcini.

(da: Antonio Tabucchi, La testa perduta di Damasceno Monteiro, Ed. Feltrinelli, 1997)

	VERO	FALSO
N17 Il dottor Bianchi parlava solo italiano	a	b

N18 Per sua fortuna ai portoghesi
piacevano molto i funghi porcini a b

N19 I suoi affari andavano bene a b

【訳】(男)ビアンキ氏はポルトガル語を話さず、未熟なフランス語で自分の言いたいことを表現するイタリア人でした。彼は会社を1つ持っていました。その会社は、ポルトガル人が非常にわずかな注意しかポルチャーニ茸に払わないので、生と乾燥のポルチャーニ茸を買いつけてイタリアに輸入していました。彼は微笑みながら、商売は繁盛しており、ポルトガル人がポルチャーニ茸にわずかな注意しか払わないでい続けてくれることを願っていると言いました。(アントニオ・タブッキ “La testa perduta di Damasceno Monteiro” [フェルトリネッリ社、1997年、邦題『ダマセーノ・モンテイロの失われた首』]から)

N17 b 【正答率】75.7%

【訳】ビアンキ博士はイタリア語しか話さなかった

N18 b 【正答率】68.8%

【訳】彼にとって幸運なことに、ポルトガル人はポルチャーニ茸が大好きだった

N19 a 【正答率】69.7%

【訳】彼のビジネスは順調だった

Secondo ascolto (N20-N22)

F: Hai sentito di Giovanna?

M: Giovanna? No. Perché, che è successo?

F: È scivolata per le scale e si è rotta un piede.

M: Oh, sant’Iddio! Ma... te l’ha detto lei?

F: Sì, poco fa al telefono. Poverina, dice che le fa malissimo.

M: Però aspetta, fammi capire... ma... è immobilizzata? Ha un gesso?

F: No, dice che le hanno fatto solo una fasciatura. Non ho capito

per quale strano motivo non hanno potuto farle un gesso.

M: Mhh... vabbè, ho capito, ho capito... Non è.... Non si sarà rotta un piede, sarà una slogatura... una storta...

F: Ma perché dici così?

M: Ma perché lo sai com'è Giovanna... insomma... Va in birreria e dice che ha bevuto tre birre, ne ha bevuta una; dice che sta un mese in Thailandia, e c'è stata due settimane... Anche qua... t'avrà detto che s'è rotta un piede e...

F: Ma dai, insomma, ...secondo te è una bugiarda?

M: Bugiarda... Non esageriamo. Bisogna solo prender con le molle quello che dice, insomma... Ridimensionarla un po'.

	VERO	FALSO
N20	Giovanna aveva bevuto troppo	a b
N21	Giovanna dovrà portare un gesso per due settimane	a b
N22	Secondo lui Giovanna esagera le cose	a b

【訳】(女) ジョヴァンナのことを聞いた？ (男) ジョヴァンナ？ いや。どうして？ 何が起きたんだい？ (女) 階段を滑り落ちて片方の足を骨折したのよ。(男) わあ、何てことだ！ でも……君にそう言ったのは彼女なのかい？ (女) ええ、ついさっき電話で。かわいそうに、とても痛むって言ってるわ。(男) でも待ってくれ、僕に理解させてくれ……けれども……体を固定されているのかい？ ギプスをしているの？ (女) いいえ、包帯を巻かれたただけだって言ってるわ。どんな奇妙な理由でギプスをしてもらえなかったのかはわからなかったわ。(男) ははあ……そうか、わかった、わかったよ……そうじゃない……足を骨折したんじゃないだろう、脱臼か……捻挫だろう……(女) いったいなぜそんなことを言うの？ (男) だってジョヴァンナがどんな人間か知っているだろう……要するに……ビアバーに行ってビールを3杯飲んだって彼女が言え、飲んだのは1杯だし、タイに1か月いるって言えば、そこにいたのは2週間だし……今も……足を骨折したって君には言ったんだろうけど……(女) まあ何、要するに……あなたに言わせれば、彼女は嘘つきなの？ (男) 嘘つき……大げさに言うのはやめようよ。彼女の言うことは用心して扱う必要があるっていうだけさ、要するに……少し割り引くってことだよ。

N20 b

【正答率】64.0%

【訳】ジョヴァンナはお酒を飲みすぎていた

N21 b

【正答率】75.7%

【訳】ジョヴァンナは2週間ギプスをつけていなければならないだろう

N22 a

【正答率】75.7%

【訳】この男性に言わせれば、ジョヴァンナは物事を大げさに言う

筆記

PARTE II (N43 - N50)

N43 b

【正答率】37.2%

【訳】すみません、ショー・ウインドーのあの靴を私に見せていただけますか？【解説】主語は省略されていますが、「すみません」を *scusi* という形で言っており、動詞の *può* も3人称単数形なので、敬称の *Lei* であることがわかります。間接補語人称代名詞 *mi*「私に」があることから、b)の *mostrare*「見せる」が正解です。a)「見る」、c)「試す」、d)「履く」は、「私」が主語ではないので、いずれも不適切です。d)の *infilare* は「履かせる」という意味でも用いますが、店での買い物の表現としては不自然です。

N44 a

【正答率】42.3%

【訳】まだ朝の10時にしかないのに、私はもうお腹がすいている！しかも私はたっぷり朝食をとったというのに。【解説】まだ朝の10時にしかないのに、私はもうお腹がすいている」と「私はたっぷり朝食をとった」の関係を考えて、前文の内容を事実として確認した上でその事実と逆らうような事柄をその後で述べているので、接続詞としては「それにもかかわらず」b)の *eppure* が適切です。c)「だから」、d)「それでは」のいずれも、論理関係が前文とうまくつながりません。a)の *benché*「～であるにもかかわらず」も論理関係の観点からはよさそうです。しかし、この接続詞は通常は接続法の動詞で構成される従属節を導くものであるのに、ここでは、

直説法の動詞が来ており、しかも従属節ではなく、独立した別の文になっているので、不適切です。

N45 d

【正答率】55.8%

【訳】「こんにちは。週刊誌の《ヴィタリタ》をいただけますか？」「あいにくですが、まだ発売されていないんです。明日またお願いします」【解説】a)「発する」、b)「通る」、c)「入る」のいずれも、雑誌の発売・発行を表す動詞としては用いません。

N46/47

【訳】「ねえ、僕は時間がないんだ……予定の変更を知らせるために、君がルーイーザに電話するのはいやかい？」「いいえ、むしろ、それはうれしいわ。そうすれば、彼女に挨拶するチャンスをつかむことになるもの。長い間彼女の声を聞いていないのよ！」

N46 b

【正答率】73.2%

【解説】a)「私は好きである」、c)「私は満足する」、d)「私は楽しむ」のいずれも少しピントが外れています。<fare piacere a + 人>は「～にとってうれしい」という意味の熟語です。

N47 a

【正答率】32.2%

【解説】cogliere l'occasione は「チャンスをつかむ」という意味の決まった表現です。d)の aspettare を使うと「チャンスを待つ」という意味になってしまいます。

PARTE III (N51 – N57)

【訳】

スモッグと汚染が増加している
電子の鼻が町にやってくる

あの鼻に気を付けろ。中心街を車両通行禁止にすることがスモッグを打倒するのに役立つのであれば、状況をモニターで監視するために、さら

にまた1つの兵器がやって来る。まさにそれがこの鼻なのである。いやむしろ、鼻たちである。60 にのぼる非常に高性能の電子の鼻たちなのだ。抽選の後、ベルガモにやって来るのである。一步さがってみよう。これらの鼻の件は真面目な話である。というのも、ベルガモ市、テレコム・イタリア社、そしてラクイラ大学をつなぐものだからだ。このジョイントヴェンチャーのおかげで、携帯用センサー(すなわち、電子の鼻)で武装したベルガモの地元警察の警官たちはわが国の007となり、大気の状態を捜査する予定なのだ。データ通信システムはテレコム社が管理し、レポートの分析は研究者たちに委ねられる予定である。用意、ドン。ベルガモは(ピストイアとともに)、幸運の女神のおかげで、この研究のモデル都市となる。というのも、「鼻」が提供されるこの2つの都市は、前述のように、抽選で選ばれたからだ。

(ホームページ“corriere.it”、2012年2月10日付の記事に加筆)

N55 a 【正答率】85.8%

【訳】電子の鼻は大気汚染レベルをモニターで監視するのに役立つ予定だ

N56 b 【正答率】79.2%

【訳】抽選で選ばれた何人かの警官だけが、この電子装置を受け取る予定だ

N57 b 【正答率】54.9%

【訳】ベルガモとピストイアは、スモッグが低濃度なので賞を授与された

作文

PARTE IV

N 58

【訳】皆さんの読書とのかかわり、それに割く時間、本についてのあなたの好みを述べてください。(150語から180語の間で)

【模範解答例】

Credo che oggi il numero di persone che si dedicano alla lettura stia diminuendo rispetto al passato. Per quanto riguarda me, di recente leggo solo due o tre libri al mese. La ragione in realtà è molto semplice: due anni fa sono venuta a vivere in centro. Per me è certo molto comodo e piacevole perché ci sono sempre tante cose interessanti da fare, ma adesso ho meno tempo da dedicare ai libri. Una volta mi piacevano vari tipi di libri. In particolare quelli gialli, che mi piacciono anche adesso. Allora leggevo quasi ogni giorno, ma ora mi manca il piacere di scegliermi qualche buon nuovo libro da leggere. In poche parole, compro e leggo quasi unicamente libri utili per il mio lavoro, e questo per me è molto triste. Leggere libri mi ha sempre resa felice. Penso che si debbano riconoscere i pregi della lettura anche se si è molto impegnati. (152 parole)

【訳】

(模範解答例)

今日では、読書にいそしむ人の数は以前に比べて減りつつあると思います。私に関して言うと、最近では月に2、3冊の本を読むだけです。実際のところ理由は非常に簡単です。つまり2年前に私は中心街に移り住んだのです。やるべき興味深いことがいつもたくさんあるので、私にとっては確かに快適で楽しいのですが、今では本に捧げる時間がとても減っているのです。かつて私はいろいろな種類の本が好きでした。特に推理小説がそうで、これは今でも好きです。当時はほとんど毎日読書していたものですが、今は何か読むべきよい新刊本を自分のために選ぶ楽しみが私にはありません。要するに、私はほとんどひたすら私の仕事のために役立つ本だけを買って読んでいます。これは私にとってとても悲しいことです。本を読むことは私をずっと幸せにしてくれました。人間は非常に忙しくても読書の価値を認めるべきだと思います。(152語)